

會 務 報 告

第 25 卷 第 9 號 昭和 14 年 9 月

役 員 會

第 11 回理事會 (昭. 14. 7. 17.)

出席者：堀越副會長，高橋，和田，岡田，稻葉各理事，中村書記長，小野寺庶務主任，朝倉會計主任，糸川編輯主任

議 事

1. 記念事業資金調達北海道支部下記委員に對し協力方依頼することとせり。

菅 良二君，山岡信吾君，本島正輔君，宮本 保君

2. 地方委員(鉄道省關係)招待午餐會を 7 月 27 日開催することとせり。

3. 入退會の件別紙の通り承認せり。

第 6 回常議員會 (昭. 14. 7. 17.)

出席者：堀越副會長，高橋(嘉)，和田，岡田，稻葉，伊藤，川口，菊池，高橋(三)，瀧尾，松田，松本，目黒，山中各常議員，鶴見東北支部長，中村書記長，小野寺庶務主任，朝倉會計主任，糸川編輯主任

報 告

1. 東北支部議員小坂忠一君退任し，叶 磯君新任せり。

2. 北海道支部第 6 回役員會議事を報告せり。

3. 杭の支持力公式調査委員會委員長に青山 土君を依頼せり。

4. 記念事業資金調達委員會委員長に辰馬鎌藏君，委員に今井 哲君，高木敏雄君を依頼せり。

5. 地方委員(内務省關係)招待午餐會を 7 月 11 日開催せり。

6. 地方委員(鉄道省關係)招待午餐會を 7 月 27 日開催することとせり。

7. 入退會を別紙(省略)の通り承認せり。

議 事

1. 故野口 誠君遺族より申出での同君記念記附金 1000 円は之を受理することとせり。

2. 土木學會誌印刷料金値上げ方申出でに關しては次回更に協議することとせり。

總 務 部 記 事

第 2 回記念事業資金調達委員會 (昭 14. 7. 31.)

出席者：辰馬委員長，衣斐，金子，河口，鈴木，高井，高橋(嘉)，山崎，吉田，和田各委員，堀越，谷口副會長，中村書記長，小野寺庶務主任，朝倉會計主任

辰馬委員長より委員長就任の挨拶あり議事に入り次の事項を協議決定せり。

1. 資金勧誘の方法に就き再検討を爲し別紙(省略)關係者に對し募集擔任委員を定め，積極的に勧誘することとせり。

2. 各關係者の贊助豫定額及擔任委員の選定は委員長に一任することとせり。

3. 職員の勧誘に當りては委員長より紹介状を與へること，又必要に応じ擔任委員よりも紹介することとせり。

4. 大口贊助金を得る方を講ずることに意見の一致を見その關係者の選定は委員長に一任することとせり。

午餐會 (昭. 14. 7. 11.)

内務省關係の土木學會地方委員を東京會館に招待し午餐會を開催せり。

出席者：鈴木雅次君，佐藤利恭君，三輪周勝君，田淵壽郎君，金森誠之君，伊藤百世君，蒲 季君，原口忠次郎君，神保金衛君，吉岡計之助君，西 義一君，岩崎雄治君，横山 喬君，山口十一郎君，荒木榮二君，三宅發造君，熊田隆治君，上田柳一君，田沼 實君，井關正雄君，平野重市君，上井兼吉君，城戸銀吉君，大石 巖君，尾崎義一君，三宅秀太君，平川保一君，飯島馨之助君，後藤季總君，後藤久吉君，叶 磯君，佐々木 銳君，佐藤東次郎君，中 忠義君，中村滿輔君，大島六七男君，高木季雄君，猿谷新太郎君，竹内常八君，宮崎正夫君，鈴木健二君，小坂忠一君，木村又治君，山極二郎君，千葉 芳君，加藤平吉君，土肥憲二郎君，緒方虎之助君，古賀久六君，河合 清君，寺田 甫君，山本廣一君，木村儀四郎君，小川讓二君，金子源一郎君，藤井眞透君，赤木正雄君，富永正義君，河口協介君，砂治國良君，島野貞三君，堀越，谷口兩副會長，和田，岡田，稻

業各理事，岡田(實)，川口，菊池，山中各常議員。古川，那波，名井，眞田，青山，井上，辰馬各前會長，中村書記長，小野寺庶務主任，朝倉會計主任，糸川編輯主任

午餐會(昭.14. 7. 27.)

鐵道省關係の土木學會地方委員を東京會館に招待し午餐會を開催せり。

出席者：高井信一君，宮本 保君，上山經亮君，小出變治郎君，瀧淵實烈君，星野茂樹君，小林紫朗君，岩田 實君，出島一宏君，阿部謙夫君，大木利彦君，小田金治君，井上隆根君，鮫島午吉君，釘宮 壽君，山口 繁君，中原壽一郎君，青山秀雄君，河合毅一君，小早川貞三君，白石鐵藏君，岡崎信雄君，渡邊榮五郎君，佐藤忠三郎君，阿曾沼 均君，沖繩政次君，三浦義男君，佐土原 勳君，河西定雄君，西岡宏治君，重森幹之助君，大森義文君，坂本鎮雄君，八田會長，堀越，谷口兩副會長，山崎，高橋，和田，岡田各理事，岡田(實)，川口，菊池，鈴木，高橋(三)，瀧尾，村橋，山中各常議員，久保田，青山，辰馬各前會長，中村書記長，小野寺庶務主任，朝倉會計主任，糸川編輯主任

編輯部記事

第 8 回會誌編輯委員會(昭.14. 8. 9.)

出席者：伊藤，大石，太田尾，風間，黑澤，佐藤，當山，本間，松村，安宅各委員，糸川編輯主任

協議事項

1. 會誌第 25 卷第 8 號所載原稿の謝禮及論說報告に對する討議依頼先を決定せり。

2. 第 25 卷第 9 號會告欄に本會コンクリート調査委員會に於て得たる鉄筋コンクリート標準示方書改正案を追加登載し，會員各位の意見を徴することとせり。

3. 第 25 卷第 10 號登載記事を下記の如く決定せり。

論說報告：軌條に生ずる応力及変形の計算法(准，小野一良)，三浦貯水池堰堤工事に就て(會，森忠藏，會，山口義彦)，一般フィレンディールトラスの応力計算に就て(會，小野殖)

彙報：ソ聯邦鉄道橋々臺及橋脚設計示方書(會，原

田干三)

抄録：不静定構造物解法に於ける応力法と変形法の關係，ハンチを有する梁のモーメント更正，裏込土砂の土圧測定，鋼矢板水路に於ける流量，木材の繊維の方向と支圧強度の關係，木材のボルト締め継手の強度，盛土搗固め程度の現場判定，護岸用袋詰め土セメント混合物，積雪量調査による河川流出量の豫報，最大可能洪水と堰堤餘水吐容量との關係，濾床に就て，Dessau 附近の獨逸自動車道熔接鋼鉄橋，ノモグラム製図法の一例

4. 第 25 卷第 9 號に下記を追加記載することとせり。

講演：秋田縣下の震災を視察して(會，高井信一)

〃〃〃(會，松村孫治)

論說報告：繋船浮標の爬駐力(會，近藤市三郎)

關西支部記事

第 6 回役員會(昭.14. 7. 15.)

出席者：福留支部長，三好，荻野，鈴木(角)各商議員，鮫島幹事長，稻浦，堀兩幹事，岩田，橋本，原口，大島，高橋，内山，島崎，清水，島，平野各記念事業委員會委員，山本主事

議 事

1. 25 周年記念事業の件
2. 25 周年記念事業計畫書類の件
各種委員會關係
3. 第 7 回工事ニュース委員會(昭.14. 7. 11.)

北海道支部記事

第 6 回役員會(昭.14. 6. 28.)

出席者：吉町支部長，井口，小野，菅，千秋，調所，山岡各商議員，鷹部屋幹事長，大坪，酒井兩幹事，岡本主事

報 告

1. 北海道支部地方委員依頼の件
2. 會員名簿作成の件
3. 特別員に對する第 1 期交附金の件

議 事

1. 支部長改選に關する件
 2. 第 2 回北海道支部大會開催の件
 3. 25 周年記念事業資金募集委員追加依頼の件
- 昭和 14 年度北海道支部大會

支部長改選の結果
次期支部長に神保金衛君當選せり

中部支部評議員及幹事長補缺選挙の結果次の諸君就
任せり。

評議員 杉山宗次郎君 中村滿輔君 石川榮次郎君
幹事長 千田正重君

中 部 支 部 記 事

第 3 回役員會 (昭.14. 7. 18.)

出席者: 北澤支部長, 上井, 大串, 奥田, 鈴木, 永
田, 田邊, 田淵, 花井, 平川各評議員, 今
泉, 大西, 杉戸, 比企野各幹事

報 告

1. 福井縣部會開催の件

議 事

- 1. 第 28 回視察旅行に關する收支決算の件
- 2. 中部支部講演會開催に關する件
- 3. 第 3 回中部支部總會開催に關する件
- 4. 25 周年記念事業に關する件

福井縣部會座談會 (昭.14. 7. 15.)

敦賀市役所に於て敦賀港第 3 期擴張計畫及福敦道
路に關する座談會を開く。

出席者: 北澤支部長, 田邊評議員, 千田正重君, 外
福井在任會員 16 名, 來賓, 敦賀市福井市
兩助役外 10 名

西 部 支 部 記 事

西部支部幹事次の通り退任又は新任せり

細川英二郎君 (退任)

長久保信夫君 (新任)

日 本 工 学 會 記 事

(昭. 14. 7. 24.)日本工學會評議員會を開き一般會
務の報告あり次いで下記事項を決議せり。

- 1. 日本金屬學會の社員入會並に第 4 回日本工學會
大會參加申込に關する件

其 の 他 記 事

(昭. 14. 7. 19.) 故野口 誠君 記念基金として
1000 円の寄附申出であり之を受領せり。

(昭. 14. 8. 1.) 土木學會誌第 25 卷第 8 號を發
行成規の手續を了し, 全會員に配布せり。

入 會 及 転 格 會 員

會 員 (入 會)

稱 葉 勝 臣 君 吳海軍建築部
木村儀四郎君 沖繩縣土木課
小 泉 敬 吾 君 岩手縣久慈港工營所

淺 山 隆 君 岩手縣和賀川工營所
石田惣喜知君 北海道帯大工学部
猪股道太郎君 岩手縣土木課
上 野 喜 義 君 滿洲拓殖公社
小野寺 巖君 内務省土木局第一技術課
大久保善雄君 岩手縣盛岡土木管區
大 島 完 一 君 上野保線事務所
大 野 重 治 君 滿洲水力電氣建設局
大 竹 清 助 君 北海道帶廣治水事務所
太 田 武 彦 君 土木建築請負業
岡 本 剛 君 滿洲大同学院

進 士 勝 巳 君 鐵道省工務局改良課
田 島 武 夫 君
島 山 英 三 郎 君 岩手縣土木課
准 員 (入 會)

柿 沼 光 輝 君 朝鮮鐵道局保線課
鍾ヶ江吉雄君 滿洲拓殖公社
鎌 田 美 天 君 北海道廳土木部河川課
萱 場 武 君 内務省仙臺土木出張所
川 俣 重 太 君 福島縣宮下土木監督所
窪 田 茂 男 君 福島縣江名港修築事務所
小 泉 義 直 君 千葉縣土木課
佐々木省吾君 福島縣平土木監督所
佐 藤 晃 君 同 富岡土木監督所
佐 藤 三 郎 君 都市計畫福島地方委員會
齋 藤 壽 吉 君 宮城縣土木部道路課

本 正 信 藏 君 岩手縣閉伊川工營所

齋 藤 正 男 君 宮城縣土木部道路課
笹 原 正 男 君 北海道廳帶廣治水事務所
植 野 政 治 君 昭和製鋼所建設局土木部
白 山 隆 起 君 北海道廳土木部河港課
白 倉 省 吾 君 滿洲拓殖公社
菅 沼 伊 一 郎 君 宮城縣鹽釜土木事務所
菅 原 重 助 君 福島縣宮下土木監督所
瀬 戸 助 君 岩手縣一ノ關土木管區
瀬 野 豊 司 君 福島縣宮下土木監督所
平 忠 男 君 日本發送電會社
高 橋 義 君 株式會社鉄興社

瀧澤正美君 岩手縣廳土木課
 瀧本達四郎君 福島縣白河土木監督所
 竹原慎一君 北海道廳土木部河港課
 立山和男君 株式會社鉄興社
 谷本勇君 北海道廳帶限土木事務所
 土田三藏君 上野保線事務所
 富樫竹五郎君 内務省仙臺土木出張所
 富田進君 京城府廳工營都土木課
 中山久君 秋田縣廳土木課
 西野究君 滿洲拓殖公社
 西野忠治君 富士川電力株式會社
 野上達郎君 石原産業海運會社
 萩原正助君 内務省鬼怒川改修事務所
 藤澤盛造君 福島縣宮下土木監督所
 藤田巖君 北海道廳帶限治水事務所

堀川淳君 日本鐵業會社
 堀澤利公君 岩手縣甲子川工營所
 松岡袞裝雄君 兩龍電力會社
 松村重三郎君 岩手縣廳土木課
 松本清君 富士川電力株式會社
 丸尾順造君 大阪市水道部技術課
 丸山齡治君 土木請負三崎組
 三浦豐治君 朝鮮鐵道局保線課
 三浦松雄君 岩手縣黑澤土木管區
 南晃君 滿洲拓殖公社
 村岡眞言君 北海道廳帶限治水事務所
 村山辰次君 富士川電力會社
 林意吾君 千葉縣廳土木課
 若狹主計君 吳海軍建築部
 渡部武君 滿洲拓殖公社

渡部文磨君 福島縣宮下土木監督所
 鶴澤秀治郎君 大牟田市役所下水道係
 梅澤彌富君 仙鉄盛岡保線區
 兼本庚子男君 同 荒屋新町保線區
 高橋富藏君 同 宮古保線區
 中村俊雄君 大牟田市役所土木課
 日野清吉君 同 下水道係
 藤田武常君 仙鉄一戸保線區
 松本雪衛君 大牟田市役所下水道係
 森正春君 宮崎縣廳土木課
 山村脩正君 仙鉄黑澤保線區
 山村哲三君 北海道廳函館築港事務所
 胸澤幸男君 南洋興發會社
 内藤政慈君 同

学 生 員 (入 會)

赤倉榮一君 日大工学部
 浅野達男君 神戸高工
 伊佐重輝君 同
 石井靖丸君 東京帝大
 市橋利夫君 日大工学部
 出澤敏男君 山梨高工
 岩倉淳一君 日大工学部
 岩崎巖君 東京帝大
 奥村邦夫君 京城高工
 加藤正明君 日大専門部

岸本襄治君 立命館日滿高工
 楠戸洗君 京城高工
 佐藤一郎君 日大専門部
 隅田元司君 名古屋高工
 多喜邦夫君 日大専門部
 茶谷誠君 同
 堤好文君 同
 坪沼重雄君 山形工業學校
 堂前良藏君 東京高工
 中村伸治君 日大専門部

根石喜久男君 日大専門部
 野村密君 同
 長谷部亮二君 東京帝大
 深谷六郎君 神戸高工
 福井榮西郎君 山形工業學校
 松永清秀君 京城高工
 圓尾明君 神戸高工
 宗像創君 東京帝大

會 員 (転 格)

岡崎忠一君 宮城縣廳土木部
 牧野鍵太郎君 鐵道省盛岡建設事務所

三上一郎君 北海道帝大工学部土木教室
 横山幹太君 内務省土木局第一技術課

鎌田謙君 仙鉄盛岡保線事務所

准 員 (転 格)

石渡秀男君
 今市卯兵衛君 株式會社 間組
 小川喜八郎君
 太田貞次君 熊本縣八代土木管區事務所
 神山慶三君 鴨綠江水電會社

川村正明君 朝鮮鐵道局江陵建設事務所
 鴻野五八郎君 鴨綠江水電會社
 酒井正男君 金石鑛山
 高久近信君 内務省神戸土木出張所
 中村稔君 北海道廳土木部河港課

西田貞一君 株式會社 鹿島組
 廣瀬隆一君 中央土木會社
 藤田政市君 株式會社 鹿島組
 山本欽一君 逓信省中央航空研究所
 蓬田裕君 滿鉄牡丹江建設事務所

土 木 学 會 々 員 數

會 員	准 員	学 生 員	特 別 員	贊 助 員	合 計
3 237	4 310	1 117	85	21	8 760

會 員 中間友義君の訃報に接す、本會は恭しく哀悼の意を表す。

准 員 金丸義晃君、神田文雄君の訃報に接す、本會は恭しく哀悼の意を表す。

會 告

會員名簿調製に就て御願ひ

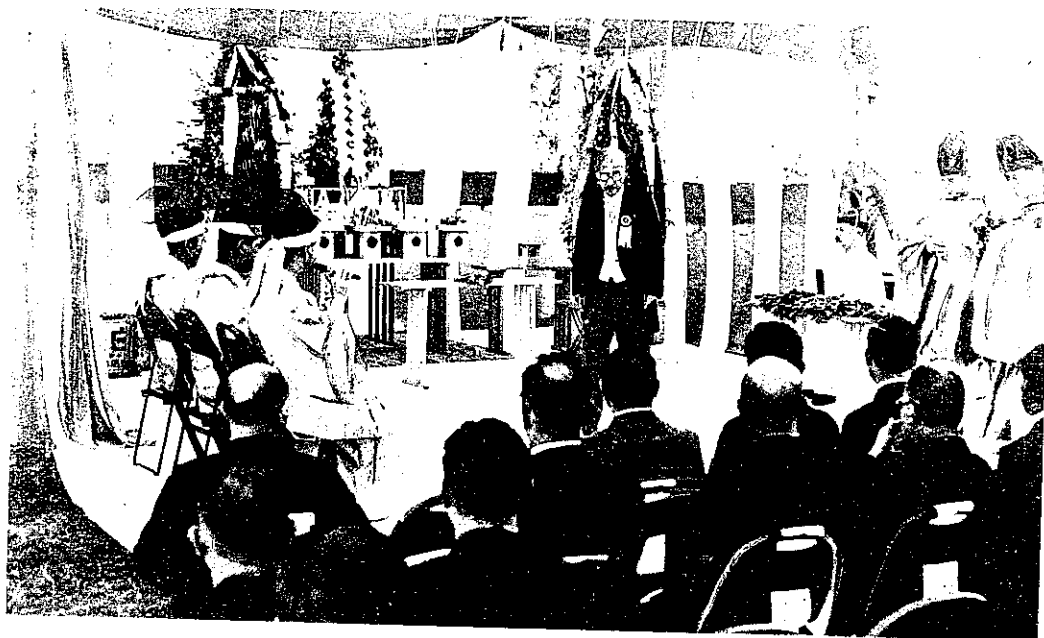
昭和15年度本會々員名簿を作成するに當りまして正確を期するため會員登録名簿と一応照合致したいと思ひますから、別紙葉書に所定の事項を漏れなく御記入の上來る9月30日迄に本會に到達する様御回報を願ひます。

從來住所職業その他が変更せられても一向御通知がないため舊來のまま名簿を作成し、實際と相違することが往々ありますのは誠に遺憾に存じます、何卒從前の通り何等変更せられない場合でも、必ず御回報下さる様特に御願ひ致します。

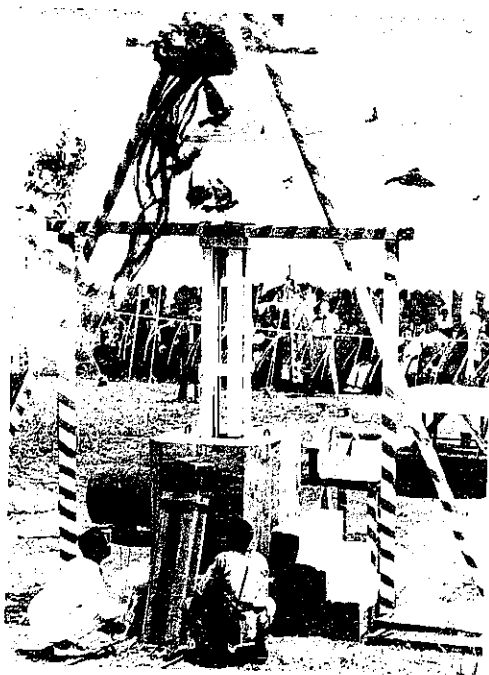
土 木 学 會

東京市飛行場起工式

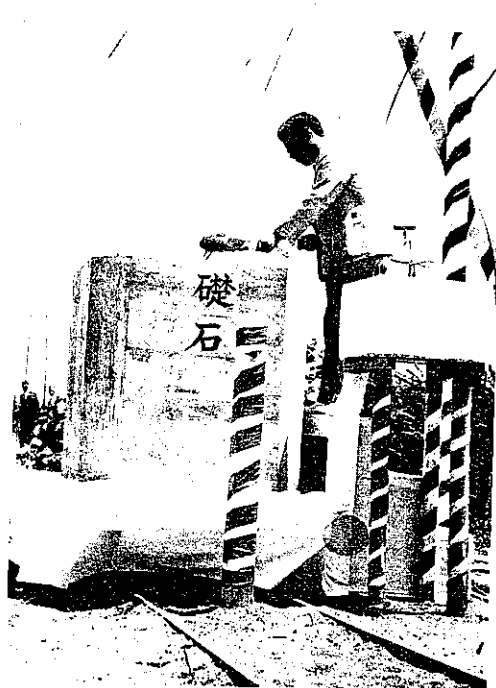
(時報欄参照)



東京市長の玉串奉奠



礎石の据付



礎石の清砂填充

川口線大谷川橋梁中央径間工事



本橋梁は川口線第4工区内只見川支流大谷川に架設中のものにして橋梁延長 82.14m の内 45.0^m の鉄筋コンクリート拱橋型鉄道橋である

支 間: 45.00m

拱 矢: 15.00m

設計荷重: K.S.-15

アプローチ: 支間 11.36m 3 連



上図: 鉄製拱架 (109.856t) 上に型枠組立中、拱架はケーブル式架設法により組立つ

中図: 鉄製拱架及型枠

下図: 鉄筋組立中

図書室及娯楽室御利用に就て

本會所有の図書及雑誌は本會図書室に備付けてありますから、下記時間内御随意に御閲覧下さい。尙娯楽室には碁、將棋盤を備付けてありますから御利用を御願ひ致します。

自9月1日至12月28日 自午前9時至午後8時、自7月21日 及土曜日 自午前9時至午後4時、
自1月4日至7月20日 自午前9時至午後8時、至8月31日

但し 日曜及祭日は休み

図書御寄贈の御願ひ

本會は本會所有の図書雑誌を整理し、図書室を設備致しました、又新に本會誌に新刊紹介欄を設け、新刊書の内容を紹介する事に致しましたから、會員の著書其の他図書雑誌は大小に拘らず学会宛御寄贈下さる様御願ひ致します。

徽章佩用に就て

本會の徽章は一般會員の方々に必ず佩用して頂く事に致してをります。講演會、見學會其の他事務所御利用には徽章佩用を必要としますから、未だ佩用せられない方は至急御申出下さい。

1. 寸法径 14 mm
2. 品種 銀地金文字浮出し
3. 種類 詰襟服用と背廣服用の別あり
4. 實費 金 50 錢 (郵送の場合は外に書留郵便料 1 個に付金 14 錢を要す)



(價 50 錢)

寄稿に関する注意

- 用紙** 成るべく本會の原稿用紙を使用され度し。原稿用紙は御請求次第御送り致します。
- 頁数** 頁数は本會の原稿用紙 180 枚（本會誌 30 頁）以内とされ度し。若し前記頁数を超過する場合は登載をお断りすることがあります。
- 文体** 文体は文章的口語体とす。本文に重要な關係のない前置、挨拶等は省く事。この方針に基き適當の字句の修整、短縮を行ふことがありますから御了承あり度し。
- 書体** 横書とし、假名は平假名、數字は算用數字、ローマ字は文部省制定ローマ字を使用され度し。歐字は特に明瞭に認められ度し。例へば n と u , u と v , r と v , a と α , r と γ , d と δ , その他 C と c , K と k , O と o 等頭字と小字とを判然たらしむる事。
- 數字名數** 數字は 3 桁毎に間隔をあける事名數は次の如く書き括弧内の如く書くを避けること。
例へば
35 錢（三十五錢）、13.56 円（十三円五十六錢）、1~4 時間（一時間乃至四時間）、
88 326 t（八萬八千三百二十六噸）、昭. 14. 1. 1.（昭和十四年一月一日）、
m（米）、 m^3 （立方米）、kg（尙）、83.4 尺（八丈三尺四寸）
- 用語** 用語は本會制定用語に依られ度し（本會制定用語は本會發行の土木工学用語集参照）。
コンクリートは片假名で記し漢字を用ひざること。
- 図表**
 - 図表は図-1、表-1 等と書き図表題を記すこと。
 - 複雑なる表の如きは成るべくグラフにて示す事。
 - 図面はその儘縮寫し得る様にトレーシングペーパー、オイルペーパー、トレーシングクロス等とすること。
 - 図表は凡て墨色を用ひインキ類或は採色を施さざる事。
 - 方眼紙は青野のものを用ひ（黄色、赤色の罫は使用せざる事）縦横線を必要とする部分には豫め墨線にて之を描き置くこと。
 - 図表の文字數、字は特に大きく書かれ度し、縮寫の標準は 1/2~1/5 程度を以て縮寫後の文字の大きさを約 2mm 程度となる様され度し。
 - 図表類は版の都合上かなり汚損するものと豫め御含み下され度し。
- 寫眞** 寫眞は特に明瞭なるものを送られ度し。
- 其他**
 - 論說報告は邦文に限る。
 - 講演及論說報告には必ず英文表題及邦文要旨並に著者の職名勤務所名を添附され度し。
- 附記**
 - 彙報、時報、抄録及工事寫眞にして掲載せる分には薄謝を呈します。
 - 講演、論說報告の各欄に掲載せる分には別刷 20 部を寄稿者に贈呈致します。尙 30 部以上御希望の向には豫め御通知ある場合に限り實費にて御要求に応じます。

會員転居転勤の場合の御注意

會員の御転居又は御転勤の場合は即時明細に御通知下さる様御願致します。

會費納付に付き御注意

會 費	會員種格	會費年額	第 1 期分 (1月~6月)	第 2 期分 (7月~12月)
	會 員	金 12 円	金 6 円	金 6 円
	准 員	金 9 円	金 4.50 円	金 4.50 円
	学生員	金 6 円	金 3 円	金 3 円

新入會者は月割計算とす。

納 期 第 1 期分：3 月 第 2 期分：9 月
納付方法 集金郵便を差向けます（旅行等にて御不在の場合も拂込に支障なき様御配慮下さい）。

振替郵便御利用の場合は振替口座東京 16828 番へ願ひます。

朝鮮滿洲の一部等、振替貯金を取扱はざる地に居住せらるゝ會員は納期の翌月末迄に爲替その他の方法に依り御送金相成度し。

會費一時納付の御豫定の場合は豫め御通知下され度し。

未納の場合 集金郵便に對し故なく支拂を拒絶し又はその他の方法により御送金なき場合は會費滞納者として遺憾ながら定款第 2 章第 14 條第 1 項に依り會誌の配布を停止せられます。

會誌未着の場合の注意

會誌は毎月 1 日に發行し漏なく配布致しますから、未着の場合には一応本會に御照會下さい。
發行後相當日數經過しての申越は時に殘部皆無となり配布不可能の場合があります。

既刊會誌殘部内譯

(* は残部有るものを示す)

巻	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	金額(1部)
6	—	—	*	—	—	*	—	—	—	—	—	—	2.00
7	—	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
8	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
9	*	*	*	—	*	*	—	—	—	—	—	—	2.00
10	—	*	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	2.00
11	—	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
12	—	*	*	—	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
13	—	*	*	—	—	*	—	—	—	—	—	—	2.00
14	*	*	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	2.00
15	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
16	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
17	—	*	*	*	*	*	*	*	—	—	*	—	1.00
18	—	—	—	*	*	—	*	*	—	—	—	—	1.00
19	*	*	*	—	*	*	*	*	*	*	—	*	1.00
20	—	—	*	—	—	*	*	*	—	—	—	—	1.00
21	—	—	*	*	*	—	*	—	*	*	*	*	1.00
22	—	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
23	—	*	—	*	—	—	—	*	*	*	—	—	1.00
24	—	*	*	—	—	—	—	*	*	—	—	—	1.00
25	—	*	*	—	—	—	*	*	—	—	—	—	1.00
第 20 巻第 12 號 (創立 20 周年記念號)													1.50
第 21 巻第 7 號 (會誌索引付)													1.30
震害調査報告書 (1, 2, 3)													18.00
鉄筋コンクリート標準示方書													1.00
同上 解説													3.50
土木学論文抄録													0.50
土木学会誌索引 (第 1 巻第 1 號~第 20 巻第 12 號)													2.50
土木工学用語集													2.50 (送料別)

上記残部會誌御希望の場合は所要金額を振替口座東京 16828 番に拂込用紙通信欄に其の旨記入請求せられたし。

廣 告 料

普通廣告 1回1頁 35円 1回半頁 20円

指定廣告 {裏表紙3面對
向及廣告初頁} 1回1頁 40円
{色アート} 1回1頁 60円

- 指定廣告は凡て1年継続申込のものに限り取扱ふものとす
- 會員自身の廣告に對しては總て上記料金の1割引とす
- 同一廣告の連続掲載申込に對しては1年4回以上1割引とす
- 廣告に寫眞版又は木版等を挿入する場合は之に要する實費を別に申受くるものとす

昭和14年8月25日印刷 昭和14年9月1日發行 (定價金1円)

東京市牛込區南町33番地
編輯兼發行者 中 村 孫 一

東京市神田區美土代町16番地
印 刷 者 島 連 太 郎

東京市神田區美土代町16番地
印 刷 所 三 秀 會

東京市麴町區丸ノ内3丁目6番地

發 行 所 社 團 法 人 土 木 学 會

電 話 丸ノ内(23) 3945番, 振替口座東京16828番

DOBOKU-GAKKAI-SI

(JOURNAL OF THE CIVIL ENGINEERING SOCIETY)

VOL. XXV, NO. 9, SEPTEMBER 1939.

CONTENTS

	Page
Proceedings of the Society	71
Address	
Inspection of the Earthquake Disaster in Akita Prefecture. <i>By Sin-iti Takai, C. E., Member.</i>	1007
Inspection of the Earthquake Disaster in Akita Prefecture. <i>By Magozi Matsumura, C. E., Member.</i>	1017
Papers	
The Ho'ding Power of Mooring Buoy. <i>By Itisaburō Kondō, C. E., Member.</i>	1029
Sludge Gas in Sewage Disposal and its Kinetic Utilization. <i>By Tōitiro Tyuzuyō, Member.</i>	1045
On the Power-Decreasing Device for Handling Levers of the Mechanical Inter- locking Plant. <i>By Katuo Ōtuki, C. E., Assoc. Member.</i>	1049
On an Example of Rock Industry. <i>By Yosimitu Syōzi, Member.</i>	1061
Notes on Matters of Interest.	1069
Abstracts of Selected Articles	1079
Current Notes	1129
Engineering Literatures	1139
Patent News	1153
New Publications	1155

OFFICE

No. 6, 3-TYŌME, MARUNOUTI, KŌZIMATI-KU, TŪKYŌ, JAPAN.